



SAMPLE

N-BLOOD

NISMO Motorsports
Communication Magazine



SAMPLE

SAMPLE

N-BLOOD

NISMO Motorsports Communication Magazine
2021 / April
No. **90**

nismo

Produced by NISSAN MOTORSPORTS INTERNATIONAL CO.,LTD

NISMO Motorsports Communication Magazine **N-BLOOD** 2021 / April No.90 NISSAN MOTORSPORTS INTERNATIONAL CO.,LTD

シリーズチャンピオンの栄光を目指して

SAMPLE

NISSAN GT-R NISMO GT500 の力強いエキゾーストノートが
岡山国際サーキットの空に響き渡った
いよいよ、全国各地のサーキットを舞台に
SUPER GT シリーズの戦いがスタートした
GT500 クラス、GT300 クラスとも
全チーム一丸となって戦う日産陣営に、ご注目いただきたい

- 4 **2021 MOTORSPORTS PROGRAMS**
日産／ニスモ、
2021年モータースポーツ活動概要を発表
オンラインで3カ所をつなぎファンイベントを実施
- 10 **SUPER GT SPECIAL INTERVIEW 1**
総監督 松村基宏
- 14 **SUPER GT SPECIAL INTERVIEW 2**
松田次生 “23勝” のさらに先へ
- 16 **NEW FACE INTERVIEW**
松下信治 世界を知る男、日産へ
- 20 **CUSTOMER RACING-LMP3**
世界三大陸で活躍するVK56エンジン
- 24 **FIA FORMULA E WORLD CHAMPIONSHIP**
開幕ラウンドでローランドが2戦連続入賞
- 26 **2021 SUPER GT SERIES-GT500**
日産／ニスモとともに戦うチームの
ガレージを訪ねて—HOSHINO RACING
- 28 **PRIVATE CARS**
愛車拝見！ レーシングドライバーのプライベートカー
- 30 **MOTORSPORTS**
Paddock TOPICS
- 32 **NISMO RESTORED CAR**
30年前から時が止まったような
プロト車のプレビューを開催！
- 33 **Club NISMO**
オンライン販売大好評です！
- 34 **NISMO PERFORMANCE CENTER**
長野県初のNPCが誕生
- 36 **NISMO PRODUCTS**
NISMO パーツ最新情報
- 38 **NISSAN/NISMO COLLABORATION GOODS**
Project CARS 3、CSR Racing 2
- 39 **PRESENT**
読者プレゼント

2021 MOTORSPORTS PROGRAMS

日産／ニスモ、2021年モータースポーツ活動概要を発表

オンラインで3カ所をつなぎ ファンイベントを実施

毎年2月に開催している日産／ニスモのモータースポーツ活動発表会
今年は新型コロナウイルス感染拡大防止を目的として
3拠点をオンライン中継するという新たな試みが行われた
トークセッションやクイズなど、ファンも楽しめるコンテンツを織り込み
緊急事態宣言下での『新しい様式』のイベントとなった



ZAMA

日産ヘリテージコレクション

神奈川県岡市の日産ヘリテージコレクションからは、田中利和監督、平手晃平選手、平峰一貴選手、高星明誠選手が出演。ズラリと並ぶ歴代のレーシングカーや市販車の数が、日産の歴史を物語っている。撮影の合間にも各選手は色々なクルマに興味津々。



ニスモ本社ショールームからは、松村基宏総監督とロニー・クインタレッリ選手、千代勝正選手が出演。ファクトリーの紹介コーナーのほか、メカニックが社内の施設でトレーニングを行う様子などもVTRで紹介された。

NISMO

ニスモ本社ショールーム



NISSAN

日産グローバル本社ギャラリー

日産グローバル本社ギャラリーには日産のアシュニ・グプタCOO、ニスモの片桐隆夫CEOのほか、星野一義監督、松田次生選手、松下信治選手、佐々木大樹選手が集合。"Zの柳田家"とも中継をつなぎ、柳田春人さんと柳田真幸選手もオンラインで共演。





日産／ニスモ 2021年モータースポーツ活動 FIAフォーミュラE世界選手権およびSUPER GTを2本柱に

2月13日（土）、日産／ニスモは2021年のモータースポーツ活動概要を発表した。例年であれば横浜の日産グローバル本社ギャラリーに多くのファンを集め、21年シーズンに臨む意気込みを表明する場だが、前頁で述べたとおり新型コロナウイルスの感染拡大防止のため無観客とし、3会場をオンラインでつなぐ形式で行われた。

今年から世界選手権となったフォーミュラEと、SUPER GT GT500クラスを大きな柱として、GT3車両を使用するチームへの技術支援、LMP3カテゴリへのエンジン供給など、多面的なモータースポーツ活動に取り組んでいく。「モータースポーツは日産とファンの皆様が一緒



イベント冒頭には日産のアシュワニ・グプタCOOが登壇。日本語のスピーチで21年のモータースポーツに臨む意気込みを語った。

にワクワクできるイベントです。また、レースとそのための技術が日産のクルマやサービスにフィードバックされています」と、流暢な日本語で日産のアシュワニ・グプタCOOが挨拶。各カテゴリの紹介、2020年シーズンの取り組みについて紹介し、「もちろん参戦する以上は、優勝を目指します」と、力強いコメントでスピーチを締めくくった。

ニスモの片桐隆夫CEOは、21年シーズンのモータースポーツ活動概要を紹介。

「日産／ニスモはモータースポーツ活動を通じて、電動化や次世代パワートレイン技術をはじめとする、将来に向けた技術開発を継続していきます。私たちは、『Race to Win』の精神で、いかなる時にも決してあきらめることなく、常に勝利を目指してチャレンジしてまいります。いまだ新型コロナウイルス感染症の影響を見通すことはできませんが、例年以上に国内外のファンの皆様ワクワクするレースをお見せできるよう、今シーズンも様々なカテゴリに全力で取り組みます」と、意気込みを述べた。

その後イベントはグローバルモータースポーツディレクターを務めるトマソ・ヴォルペ、フォー



グプタCOOに続いてニスモの片桐隆夫CEOがスピーチ。フォーミュラEとSUPER GTを軸に、カスタマーサポートを行う旨を説明した。

ミュラEに参戦するセバスチャン・ブエミとオリバー・ローランドからのビデオレターが放映され、SUPER GT GT500チームの監督および選手から今シーズンにかける意気込みが語られた。イベント後半は、ファン投票によるレーシングカーベスト5の発表やクイズ大会、『GT-R vs Z』と題されたスペシャル対談などが行われ、多くのファンがその様子を楽しんだ。

2021年日産モータースポーツファンイベントの様子は
こちらでチェック



FIAフォーミュラE世界選手権

EVが持つワクワクや楽しさを伝える

日産は、チームランキング2位を獲得した昨シーズンに続き、ABB FIA フォーミュラE 世界選手権（シーズン7）に参戦する。

高性能の電気自動車（EV）を使用するフォーミュラEは、EVの普及を目指す日産にとって、非常に重要な取り組みのひとつであり、EVによるモータースポーツを通じて、ゼロエミッションのEVが持つワクワクや楽しさを世界中に広めるべく取り組んでいく。

日産e.dams フォーミュラEチームの監督は、オリビエ・ドリオとグレゴリー・ドリオが務める。そしてドライバーとして3シーズン目を迎えるセバスチャン・ブエミは引き続き23号車を、チームメイトのオリバー・ローランドは22号車を



シーズン開幕前のテストでは順調にメニューをこなした日産e.damsの2台。第3戦以降の巻き返しに注目が集まる（レポートは24ページに掲載）。



23号車を駆るのはスイス出身のセバスチャン・ブエミ。FEのみならずF1やWECなど多彩なレースで速さを発揮してきた。



22号車は英国出身のオリバー・ローランド。フォーミュラの経験が豊富で、昨年はFE初優勝を挙げるなど強さを見せている。

ドライブ。また、日産の最新かつ最も有名なEVのロードカーにちなんで、23号車を「日産アリア」、22号車を「日産リーフ」と名付けた。シーズン7も、世界チャンピオンを目指して戦っていく。

SUPER GT GT500クラス

王座奪還を目指し、一丸となって取り組む

日産／ニスモは、2021年仕様のNISSAN GT-R NISMO GT500を開発し、SUPER GT GT500クラスに参戦するチームに技術支援を行う。

昨年に引き続き4台が参戦し、NISMO、NDDP RACING with B-MAX、TEAM IMPUL、KONDO RACINGの各チームがチャンピオンを目指して全8戦のシーズンに挑む。この4チームをまとめる総監督は、ニスモCOOの松村基宏が引き続き務める。また、ミハエル・クルムがエグゼクティブアドバイザーとしてチームおよびドライバーの支援を行うこととなる。

2021年仕様の車両は、規則で開発が可能なエリアにおいて軽量化や信頼性の確保を重視した開発を行っている。エンジンの熱効率と出力を向上させ、その特性を

SUPER GT GT500クラス チーム体制

No.	チーム	ドライバー
23	NISMO	松田次生／ロニー・クインタレッリ
3	NDDP RACING with B-MAX	平手晃平／千代勝正
12	TEAM IMPUL	平峰一貴／松下信治
24	KONDO RACING	高星明誠／佐々木大樹

最大限引き出すために実車で制御データの適合を最適化して運転性も改善しており、タイヤごとに詳細なセットアップチューニングを行うことで、競争力をさらに向上させてシーズンに臨む。

カスタマーレーシングプログラム

①GT3プログラム

GT300、S耐参戦チームを支援

ニスモはNISSAN GT-R NISMO GT3でSUPER GT GT300クラスとスーパー耐久のST-Xクラスに参戦するチームの支援を引き続き実施する。

SUPER GT GT300クラスには5台が出場。GT3オフィシャルパートナーチームのGAINERから2台、NILZZ Racingから1台、GT3オフィシャルパートナーチームのKONDO RACINGから1台、TOMEI SPORTSから1台が参戦する。日産自動車とKONDO RACINGは、レース活動を通じた人材育成プログラム「NISSAN MECHANIC CHALLENGE」を今季も継続。プログラム10周年となる今年は、ディフェンディングチャンピオンとして、さらなるチャレンジに向け取り組む。スーパー耐久ST-XクラスにはMP RacingおよびDAISHIN/GTNETからそれ

②エンジンサプライプログラム

LMP3規則に対応したVK56エンジンを供給

日産／ニスモは2020年シーズンから導入されたLMP3規則に対応したVK56エンジンをオレカ社を通じて供給し、技術支援を行う。欧州ではヨーロッパ・ルマン・シリーズ、ミシュラン・ルマン・カップ、アルティメイト・カップ・シリーズ、北米ではデイトナ24時間レースを含むIMSA ウェザーテックススポーツカー選手権、IMSA プロトタイプチャレンジ、そしてUAEで集中開催されるアジア・ルマン・シリーズなど、すべてのLMP3クラスのレースに出場するチームに供給する。

その他の活動

ワンメイクレースやNDA、NISMO FESTIVALを予定

その他の活動として、カナダで5月から日産セントラ（写真）によるワンメイクレースを開催。国内ではロードカーユーザーとモータースポーツをつなぐ活動としてNISMO ドライビングアカデミーを実施する。ミハエル・クルムが校長、ニスモ契約ドライバーが講師を務め、日本各地のサーキットで開催を予定している。また、23回目となるNISMO FESTIVALは今年も富士スピードウェイで開催予定。日程は決定次第発表する。

